ランチョンセミナー2

演題名

小笠原先生、ひとりで家で死ねますか? ~遠隔診療利用型在宅医療モデル事業(岐阜モデル)~

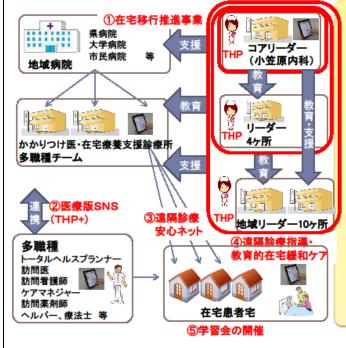
概要

今年25年目を迎える小笠原内科は、平成24年度には在宅医療連携拠点事業に採択され、 岐阜市中心部を対象に事業を行った。昨年の活動の中で独創的・先進的と思われる教育的在 宅緩和ケア、遠隔診療、THPの育成に焦点をあて、遠隔診療利用型在宅医療モデル事業(岐 阜モデル)と題した事業を25~27年度の3年間かけて点から面への戦略として、岐阜県全域 で行う予定である。

おひとりさまの在宅ケア、遠隔診療利用型在宅医療モデル事業(岐阜モデル)に関して講演したい。

遠隔診療利用型在宅医療モデル事業【岐阜モデル】

平成24年度<u>在宅医療連携拠点事業での実績をもとに、県下全域への展開を図る。</u>これを 実現するため、<u>病院から在宅移行した患者のワークショップや遠隔医療・安心ネットの実施</u>、 小笠原内科による遠隔診療指導、教育的在宅緩和ケアなどを実施する。



①病院から在宅移行した患者のワークショップ 病院退院調整時、患者症状等を考慮し受け入 れ可能なかかりつけ医の選定等について助言 するなど、在宅への受け入れ支援を行う。

②医療版SNS(THP+)

患者を中心とした医療従事者の持つ情報(患者 状態、写真等)をリアルタイムに共有し、チーム 医療を実現する医療版SNS(THP+)の導入を 行う。

③遠隔診療・安心ネット

過疎地など遠方の患者に対し、スマートフォン、 iPadなどの携帯端末を使用し情報共有や遠隔 診療を実施し、安心ネットを構築する。

④遠隔診療指導・教育的在宅緩和ケア

在宅で経験が少ないかかりつけ医・在宅療養支援診療所、訪問看護ステーションに対し、スマートフォン、iPadなどの携帯端末を使用し遠隔診療指導を実施する。同じ患者に同時に関わることで実践教育及び1人医師に対する後方支援、THPの育成を行う。

⑤学習会の開催

上記を実現するため学習会などを実施。